

クリスマス mood を演出した会場で演奏する吹奏楽団
 プリマベラ = 丹波篠山市黒岡で



クリスマス公演10回の節目

吹奏楽団 プリマベラ 東雲吹奏楽部と共演も

吹奏楽団プリマベラ（团长）の「第10クリスマスコンサート」が8日、丹波篠山市民センターで行われた。同コンサートは同楽団が行う年1回の自主公演で、10回の節目を迎えた。交流のある篠山東雲高校吹奏楽部の部員も演奏に加わり、なじみのある曲を中心に披露。お楽しみ抽選会を行うなど、アットホームな雰囲気の中で、温かな音色が会場を包み込んだ。

会場にはクリスマスツリーが飾られ、団員もサンタクロースの帽子をかぶって mood を演出した。第1部では「LOVE LOVE LOVE」世界に一つだけの花」などハートフルな曲を演奏。第2部では同部の生徒、顧問、OBも加わり、「となりのトトロ・メドレー」「ルー・ルーの伝言」などリズムカルな曲を披露し、第3部ではクリスマスソングを奏でた。

同楽団と同部（5人）は、ささやまの森公園で開かれる「里山まつり」の際などに度々共演している。トランペットで出した同部のさん（2年、篠山東中出身）、さん（同、篠山中出身）は、「緊張感はなかったが、うまく吹けるか不安があった。演奏が始まれば楽しく吹けた」と笑顔だった。

節目を迎え、团长は、「このコンサートは、観客2人から始まった。

その時はまさか10年続くとは思わなかった。地域に定着してきたのかな、と思い、うれしい限り。「自分たちが楽しまないとお客さんも楽しくない」をモットーにずっとやってきた。今日もこれからも、その気持ちでやっていきたい」と話していた。

2024年12月12日

丹波新聞